

学校評価の手引き

平成29年作成

埼玉県学事課幼稚園担当

平成29年3月1日

○ はじめに

学校評価については、「自己評価」は実施と公表が義務、「学校関係者評価」は実施と公表に努めなければならないと法令で規定されており、皆様にはその実施に尽力いただいていることと思います。

一方で、評価の実施方法が正しいものなのかどうか疑問に思われている幼稚園もあることと存じます。

本手引きは、そのような疑問の解決に資するために作成されたものになります。

別添の『幼稚園における学校評価ガイドライン（平成23年改訂）』（文部科学省）（以下、ガイドライン）を簡易化した内容となっており、「自己評価」と「学校関係者評価」に関する記述を主としております。

情報量を少なくしておりますので、本手引きを参照の際には、ガイドラインも併せて御覧ください。

○ 目次

1	学校評価とは	…P2
2	学校評価の形態	…P3
3	学校評価の実施手順	…P4
参考	学校評価シート	

○ 参考

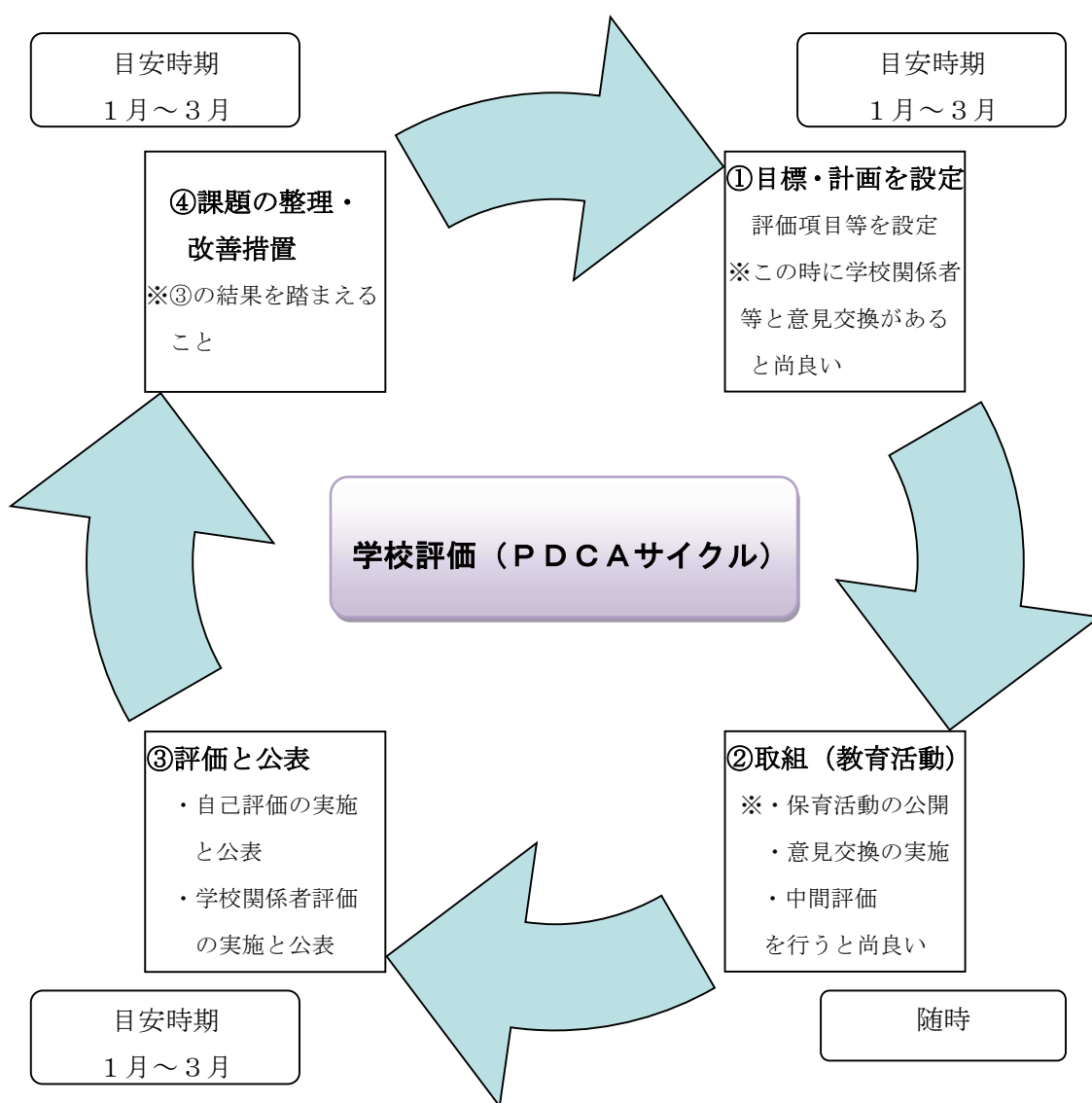
『幼稚園における学校評価ガイドライン』〔平成23年改訂〕 文部科学省

1 学校評価とは

学校評価は、幼児が幼稚園において良い教育活動を享受できるよう、幼稚園運営の改善と発展を目指す継続的な取組み（手段）です。

具体的には、①目標を設定し、②目標達成に向けて取組み、③その取組の評価と公表並びに説明を行い、④その結果を踏まえて改善措置を講じ、再び①へという循環（いわゆるPDCAサイクル）を繰り返し、幼稚園をより良いものに変えていこうという取組みです。

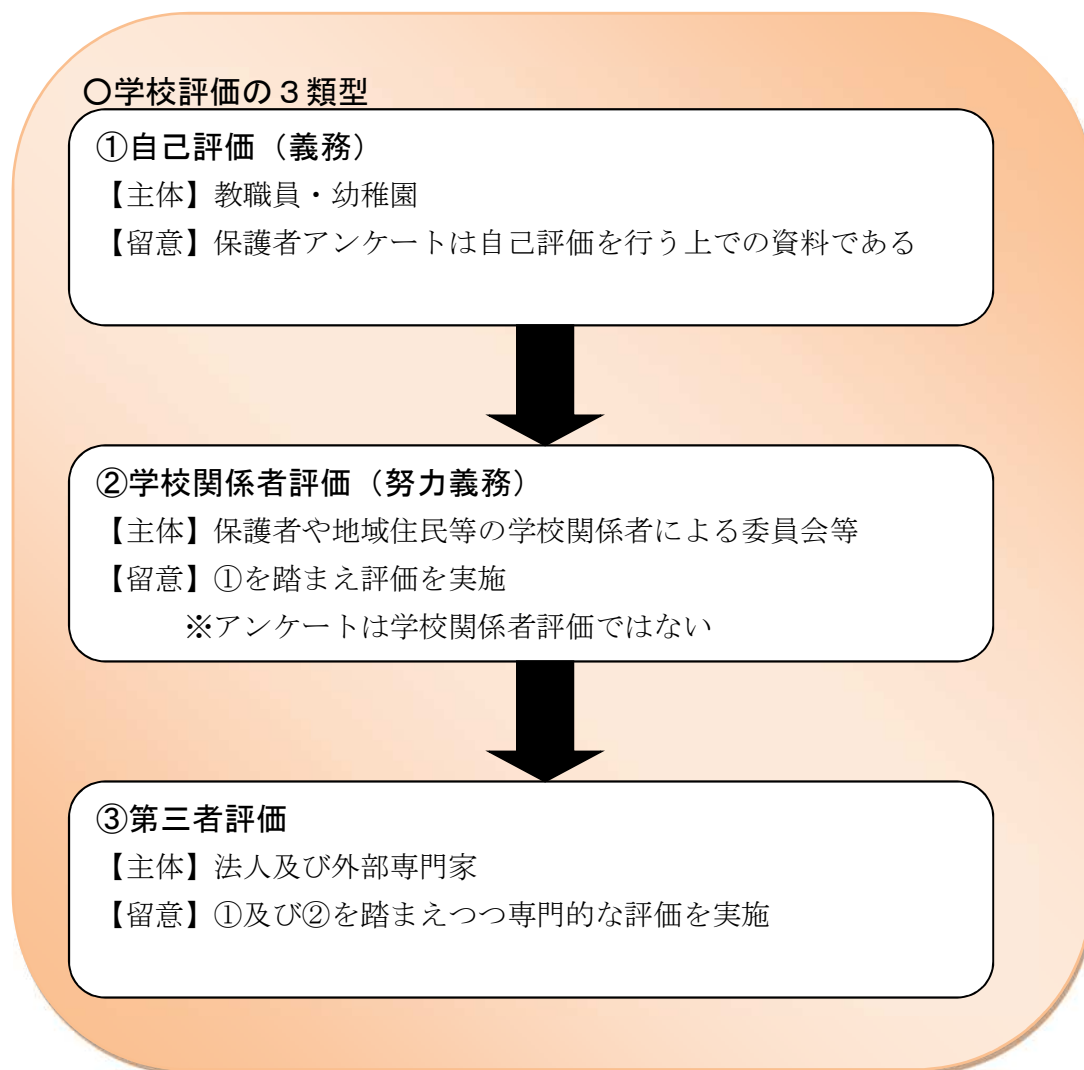
学校評価の実施そのものが目的にならないよう上記の趣旨を理解していただくことが重要です。



2 学校評価の形態

学校評価には3つの形態があります（下記図参照）。

①→②（→③）の順に実施するのが基本です。



どの評価にも共通することですが、「アンケート」については評価ではなく、評価を行う上での参考資料という位置付けになります（ガイドライン P3）。

自己評価については、職員会議や面談等で実施可能ですが、学校関係者評価については、評価委員会等によって場を設け、評価・意見をしてもらうことが適当と考えられます。例えば、評議員会で評価・意見をしてもらうことを想定しています。

先にも記載していますが、学校評価はあくまで幼稚園運営の改善と発展を目指す「手段」です。ぜひこのような機会に学校関係者との繋がりを深め、幼稚園運営の発展に努めてください。

3 学校評価の実施手順

それでは実施手順を簡単に紹介していきます。本手引きの2ページ、3ページの図も参照してください。(ガイドライン P5 以降)

下記(1)～(8)を繰り返す形になります。

(1) 教育目標と運営方針の確認

幼稚園には各々「教育目標」があるはずです。また、その教育目標を達成するために幼稚園の運営方針(どのようなことを重点的に取り組むか)を定めているかと思います。まずはこれらを確認することから始まります。

(2) 学校評価の具体的な目標、計画の設定

教育目標と運営方針を確認したら、幼稚園の現状を踏まえつつ、具体的な目標、計画を設定します。

(3) 自己評価の評価項目、評価基準の設定

学校評価の具体的な目標や計画を設定したら、その達成に向けた取組や成果を適切に評価するための評価項目を設定し、必要に応じて評価基準を設定します。

※ガイドライン P19 以降に評価項目等の設定の際の参考例が示されています。

(4) 日常的な取組

(3)まで終えたら、各々が目標達成に向けて行動していきます。

※学校関係者の保育活動の参観や意見交換の機会を設けると尚良い。

(5) 自己評価の実施・公表

(1)～(3)で確認・設定したものをを用いて、目標の達成状況、プロセスを把握し、整理していきます。その結果を踏まえて取組みについて評価を行い、今後の改善方策に繋げていきます。

※この自己評価を行う際に、保護者アンケート等の結果があると分析しやすいとされています。自己評価を実施したら、その結果や評価基準、改善方策を自己評価シートにまとめていき、公表を行います。

【公表の方法】

例) 園便り、PTA保護者会を利用した説明、幼稚園のHPへの掲載

(6) 学校関係者評価の実施・公表

学校関係者は(1)～(3)で設定したもの、自己評価の結果、結果を受けた今後の改善策が適切か否かを評価していきます。

評価項目によっては、学校関係者が事前に保育活動を参観したりしていると評価しやすいかもしれません。

学校関係者評価を実施したら、その結果をまとめ公表を行います。

(7) 第三者評価の実施

これについては省略します。(参考：ガイドライン P11～P16)

(8) 結果を踏まえた改善

(5)～(7)の結果を踏まえ、自己評価と改善方策の見直しを行い、今後の目標設定や改善に繋げていきます。

※学校評価は通信簿と似ている？

学校の通信簿は教科ごとにそれぞれ目標と評価項目を設定して、授業の様子(達成に向けた取組)、テスト(成果)等を考慮し学期毎に評価(自己評価)をしていますよね。子どもはその通信簿を保護者(学校関係者)に見せて、頑張ったところ、もう少し頑張る必要があるところを話し合う(関係者評価)と思います。

授業参観や三者面談も必要に応じて実施しています。

少し分かりにくい…と思った場合には、学校評価は幼稚園(及び教職員)の通信簿みたいなものと捉えると分かりやすいかもしれません。